

講義年月日：2006年6月12日

講演者：加藤好郎氏（慶應義塾大学国際センター事務長）

テーマ：大学図書館におけるアーカイブス

講義内容

1. アーカイブスとは

- ・ 一次史料のこと。またはそれを集めた文書館のことをさす。
- ・ 半永久的に持っていなければならない史料や貴重書。

2. 資料選択（選書）の用語と概念

- ・ 価値論（図書自体の価値）と要求論（利用者の要求）
- ・ 経営者の欲しい物と望ましい物
- ・ それらは一致しない難しさがあり、集めるコンセプトが必要である。

3. 大学図書館の研究支援、教育支援

- ・ 一般図書、研究図書のほかに研究資料がある
- ・ 歴史の中で一定の役割を果たした図書を、体系的、継続的、学説史、方法論の違いを重複して収集する必要がある。
- ・ 研究の為のアプローチとして、実態・政策・運動・歴史を知る為の資料である。

4. 最近発見されたアーカイブス

- ・ 手塚治虫デビュー作
- ・ 731部隊長石井四郎の直筆ノート
- ・ ユダの福音書、パピルス13枚
- ・ 17世紀ポルトガル公文書
- ・ 木簡「漢籍」18世紀
- ・ 11世紀人物壁画
- ・ 朝鮮王朝実録
- ・ これらは歴史をくつがえすものであったりもする。
- ・ また、本来の持ち主である国へ返還されることも出てくる。